

## 平成27年度 授業シラバスの詳細内容

|               |  |     |             |         |
|---------------|--|-----|-------------|---------|
| 科目名(英)        | ゼミナールⅡA(SeminarⅡA)                             |     | 授業コード       | E002415 |
| 担当教員名         | 森田 和子  |     | 科目ナンバリングコード | E21201  |
| 配当学年          | 2  | 開講期 | 前期          |         |
| 必修・選択区分       | 必修   | 単位数 | 2           |         |
| 履修上の注意または履修条件 | 出席を重視します。やむをえぬ事情で休むときは、連絡すること。                 |     |             |         |
| 受講心得          | 自らの力で学び、学力を向上させることを目指します。お互いの理解を深め、共に学んでいけること。 |     |             |         |
| 教科書           | 能勢哲也著「現代財政学」(有斐閣)                              |     |             |         |
| 参考文献及び指定図書    | 池上岳彦編「現代財政を学ぶ」(有斐閣)                            |     |             |         |
| 関連科目          | 特に指定しません。関心のある経済学関係の科目を積極的に受講してください。           |     |             |         |

|       |  |
|-------|--|
| 授業の目的 | このゼミでは、新しくゼミナールにはいった皆さんを対象に、財政学を専門的に学ぶための基礎力を養成します。共通の文献を読むことで、日本の財政の制度、政策を理解するための基礎知識を学びます。 |
| 授業の概要 | 教科書をしっかり読み、財政学の基本用語、重要概念を整理して理解していきます。   |

| ○授業計画   |                              |
|---|------------------------------|
| 学修内容  | 学修課題(予習・復習)                  |
| <b>第1週：オリエンテーション</b><br>第1回 ゼミナールの紹介、履修指導。ゼミで勉強する内容、方法を説明します。 | 時間割、学習自己評価シートを持参してください。      |
| <b>第2週：</b><br>第2回 財政学の対象と領域                                  | 教科書を購入し、第1章をあらかじめ読んでおいてください。 |
| <b>第3週：</b><br>第3回 政府活動の特質                                    | 前回の復習と今週の学習内容の整理。            |
| <b>第4週：</b><br>第4回 財政学の系譜                                     | 前回の復習と今週の学習内容の整理。            |
| <b>第5週：</b><br>第5回 日本の財政の意思決定システム                             | 前回の復習と今週の学習内容の整理。            |
| <b>第6週：</b><br>第6回 政府の規模                                      | 前回の復習と今週の学習内容の整理。            |
| <b>第7週：</b><br>第7回 予算制度と予算原則                                  | 前回の復習と今週の学習内容の整理。            |

|   |                |                   |
|---|----------------|-------------------|
| <b>第8週：</b><br>第8回 租税の意義                                |                | 前回の復習と今週の学習内容の整理。 |
| <b>第9週：</b><br>第9回 租税思想                                 |                | 前回の復習と今週の学習内容の整理。 |
| <b>第10週：</b><br>第10回 租税の分類、税率構造                         |                | 前回の復習と今週の学習内容の整理。 |
| <b>第11週：</b><br>第11回 公共支出の分類と機能                         |                | 前回の復習と今週の学習内容の整理。 |
| <b>第12週：</b><br>第12回 政府消費と公共サービス                        |                | 前回の復習と今週の学習内容の整理。 |
| <b>第13週：</b><br>第13回 公共投資                               |                | 前回の復習と今週の学習内容の整理。 |
| <b>第14週：</b><br>第14回 移転支出                               |                | 前回の復習と今週の学習内容の整理。 |
| <b>第15週：</b><br>第15回 社会保障の公平性                           |                | 前回の復習と今週の学習内容の整理。 |
| <b>第16週：期末試験</b><br>第16回 補講 期末試験は実施しません。前期の学習の総まとめをします。 |                | 前期の学習内容の整理と確認。    |
| <b>授業の運営方法</b>  | (1)授業の形式       | 「講義形式」            |
|   | (2)複数担当の場合の方式  |                   |
|   | (3)アクティブ・ラーニング |                   |
| <b>地域志向科目</b>   | 該当しない          |                   |
| <b>備考</b>   |                |                   |

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| <b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b> |   |
| <b>【関心・意欲・態度】</b>           | 新しいことを学ぼうとする姿勢を評価します。休まずコツコツ努力を継続できること。       |
| <b>【知識・理解】</b>              | 資料を読んで内容を理解できる。                               |
| <b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>    | ゼミナールⅡAでは、まず教科書を読み、重要事項を書き出してノートを作る技術を身につけます。 |
| <b>【思考・判断・創造】</b>           | 日本の財政の現状と今後の課題について理解を深める。                     |

|                         |                 |               |              |    |
|-------------------------|-----------------|---------------|--------------|----|
| <b>○成績評価基準(合計100点)</b>  |                 |               | 合計欄          | 0点 |
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等(テスト) | レポート・作品等(提出物) | 発表・その他(無形成果) |    |

|  |  |     |  |
|--|--|-----|--|
| <b>【関心・意欲・態度】</b><br>※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。                         |  | 60点 |  |
| <b>【知識・理解】</b><br>※「専門能力(知識の獲得)」を含む。                             |  | 10点 |  |
| <b>【技能・表現・コミュニケーション】</b><br>※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 |  | 20点 |  |
| <b>【思考・判断・創造】</b><br>※「考え抜く力」を含む。                                |  | 10点 |  |

**(「人間力」について)**

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

**○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安**

| 成績評価方法            | 評価の実施方法と達成水準の目安                |
|-------------------|--------------------------------|
| レポート・作品等<br>(提出物) | 自ら主体的に取り組む、新しい知識を身につけることができたか。 |
| 発表・その他<br>(無形成果)  |                                |